

群馬ふるさとづくり賞

群馬県地域づくり協議会では、「群馬ふるさとづくり賞」を設け、活力ある地域づくりに取り組んでいる優れた団体等を顕彰しています。

本年度も、「利根沼田学校組合立利根商業高等学校パソコン部」が群馬ふるさとづくり賞に、「群馬県立伊勢崎興陽高等学校」が群馬ふるさとづくり奨励賞に輝きました。

本賞は地域づくりへの活動の成果をアピールする良い機会となり、魅力ある地域づくりの更なる進展を図る契機とするため設けているものです。来年度も皆様からのご応募をお待ちしております。



講評

読売新聞東京本社前橋支局長 春日 貴光様

群馬ふるさとづくり賞を受賞された「利根商業高等学校パソコン部」の皆さん、群馬ふるさとづくり奨励賞を受賞された「群馬県立伊勢崎興陽高等学校」の皆さん、おめでとうございます。

昭和62年に創部した「利根商業高等学校パソコン部」は、利根沼田地区の主な産業である観光分野において、高校生の知識やアイデアで地域活性化に貢献できないかと考え、長年に渡り取り組んできました。最近では、精肉店3軒と共同で、初代沼田城主の妻にちなみ「小松姫コロッケ」を開発し、新聞やテレビで紹介されたのが記憶に新しいところです。市内の散策マップも作成し、町歩きを楽しんでもらおうと試みました。審査会では、実践的かつ継続的な活動に高い評価が集まりました。「地域の課題をしっかりと捉え、勇気と希望に満ちた行動は起業家精神にあふれている」「ITの知識を活かし、アプリ開発や資金調達のためのクラウドファンディングを活用するなど、低予算の中でも知恵と工夫で目標を実現するたくましさへの賞賛、そして卒業後も地域活性化のために活動してほしい」といった将来への期待も寄せられました。

奨励賞に選ばれた「群馬県立伊勢崎興陽高等学校」の皆さんは、地元の工場から排出される廃棄野菜と、放置された竹林の問題に着目し、厄介な廃棄物を利用可能な資源に変える技術開発に取り組みました。審査委員からは「高校生の新鮮な気付きを先生方がうまく導いている」「開発した技術を是非、実用化し、群馬県から全国へ情報発信してほしい」という声が聞かれました。プレゼンテーションでは、出席できない生徒たちに代わり先生方が行いました。利根商業高等学校の生徒さんのプレゼンが素晴らしかっただけに、審査の上でやや不利になってしまった感がありましたが、高校生らしい柔軟な発想が高く評価されました。

ここ2年間の応募団体は、高齢者が中心となった地域活動が目立ちましたが、今回はフレッシュな高校生の皆さんが主役です。若々しいアイデアと、地域にしっかりと目を向けた取組に心強いものを感じます。この賞を励みに、皆さんの活動がますます発展されることを願っています。本日は誠にありがとうございました。



群馬ふるさとづくり賞



活動内容 部活動で取り組む商業研究活動をテーマに、地域の主要産業である「観光産業」を地域の活性化に結びつく活動とするための手法を考え、取り組んでいる。

観光マップの発行や、商品開発等、毎年様々な活動を考え展開し、継続的に実践活動を行うため、社会情勢や消費者ニーズも捉えながら幅広い活動を行っている。

利根沼田学校組合立利根商業高等学校 パソコン部（みなかみ町）

開始年 平成17年 部員 5名

代表 川端 雄哉氏

このような素晴らしい賞をいただき、感謝申し上げます。この賞をいただくことが出来たのは、私たちの力だけではなく、先輩方の長い積み重ねや、多くの地域の方の協力があったからだと考えています。本部の活動が賞として認められたことに喜びを感じています。

また、本年度も活動を継続しており、みなかみ町を知ってもらうため、町の水を使ったコーヒーの販売や、各温泉にまつわる文人たちの詩歌をまとめたシオリやチラシの作成等に取り組んでいます。

これからも、私たちの地域貢献活動がより良いものとなるよう取り組んでいきたいと思いません。

群馬ふるさとづくり奨励賞



活動内容 近年、本県の燃えるゴミ排出量が全国ワースト1位となり、特に生ゴミは水分が多いことから問題化する中、伊勢崎市にもカット野菜の工場があり、毎日数トンの廃棄野菜が排出されている。また、放置竹林問題も社会問題化。そこで、これらの問題解決を、利用可能な「未利用資源」として捉え、「廃棄野菜」「竹チップ」を活用したキノコ栽培に取り組んでいる。

群馬県立伊勢崎興陽高等学校 （伊勢崎市）

開始年 平成27年 部員 4名

代表 金谷 穂波氏

この度はこのような素晴らしい賞をいただき、感謝申し上げます。私たちは、地域の未利用資源の利用をテーマとした研究を継続的にを行っています。今回のプロジェクトは本県を始め、全国的に問題化している放置竹林問題の解決を目指す取組として行っています。本活動により、放置竹林を厄介物と捉えるのではなく、優良資源として捉えることで群馬のふるさとづくりに役立つものに出来ると考えるようになりました。

本県の燃えるゴミ排出量ワースト1位という記事を目にしましたが、裏を返せば未利用資源が沢山存在するという事です。

私たちは今後も、より良い群馬にするための活動を行っていきたくと考えています。